

■ 日本の国立公園 ■

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 30 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。



「伊勢志摩国立公園」

昭和 21 年 11 月 20 日指定 / 陸域面積 55,544ha / 海域 19,100ha / 三重県
伊勢志摩国立公園協会の事務局長 滋野 峻さんよりご紹介いただきます

伊勢志摩国立公園の沿岸部は、英虞湾、五ヶ所湾に代表される典型的なリアス式海岸です。また、内陸・海岸部の社寺有林には暖帯性の常緑広葉樹が茂り、海辺にはハマユウやハマナデシコなどの海浜植物がみられます。

一方、国立公園の96%が民有地であるため、人と自然のかかわりが多く、中でも古くからある「海女漁」と近年になって発明された「真珠養殖」などの独特の文化がはぐくまれています。

現在志摩半島には、およそ千人の海女が素潜りでアワビ、サザエなどを採って生業としていますが、自然の恵みに感謝しながら、漁業資源を採り尽くさないための様々な約束事を守っています。



英虞湾



↑ 内宮新ご正殿

また、伊勢神宮の宮域林が、特別保護地区に指定されている他、伊勢志摩には遺跡・伝説・民話・風俗・祭事などが数多く残っていて日本でも有数の歴史の古い地域であることも大きな特徴の一つと言えます。

そして、伊勢志摩の玄関口・鳥羽駅前には鳥羽ビジターセンターがあります。ここでは、広域のパンフレットを設置して、伊勢志摩の魅力を満喫していただくためのご案内と同時に

展示コーナーでは、海女文化の紹介など時期に応じた展示も開催しています。



↑ 鳥羽ビジターセンター

◆伊勢志摩国立公園協会 <http://www.ise-shima.or.jp>

■ ようこそ！ビジターセンターへ ■

裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

今年も「雪の記録」つけています！

ずんずん積もる雪、雪、雪。今年は雪の積もるタイミングが早くないかな？今日はどのくらい積もったかな？今年の雪は例年にくらべて多いのかな？など、雪の深さについて「？」と思ったら、こちらをご覧ください。

今年も「雪のきろく」を展示しています。



過去 2 年間と今年積もった雪の高さの日々の変化を等身のグラフにして掲載しています。

ぜひ、実物を見に来てください！

展示「冬 裏磐梯に暮らす鳥」

館内には、裏磐梯で暮らす鳥を季節ごとに紹介するコーナーがあります。そこに、裏磐梯ビジターセンターから一番近い沼、毘沙門沼周辺でみられた鳥や、裏磐梯全体でのその他の鳥情報がタイムリーに分かるように、掲示板を設けました。

地元の鳥好きの方の鳥情報、来館者の情報も掲載しています。

裏磐梯の鳥について
「こんな見たよ！」
「今はどんな鳥がみられるかな？」と思ったら、ぜひ、こちらを活用してみてください。



みなさんの鳥情報、お待ちしております！